

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 障がい者就労オフィス設置費・運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育研修課 管理調整係 電話番号：058-271-3325

E-mail：c17781@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,294 千円 (前年度予算額：18,341 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	18,341	0	0	0	0	0	45	0	18,296
要求額	18,294	0	0	0	0	0	46	0	18,248
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成30年8月に中央省庁による障害者雇用水増し問題が発覚し、県教育委員会で再点検を実施したところ、雇用率の算定誤り判明し、その結果、当初国に報告していた雇用率2.5%から1.69%に下がり、法定雇用率2.4%を大きく下回っている状態であった。
- ・このため、障害者雇用率の改善策の一つとして、令和元年度に岐阜県総合教育センターに障がい者就労オフィスを設置した。

(2) 事業内容

- ・岐阜県総合教育センター内に障がい者就労オフィスを設置し、『公務職場』における働く場を提供する。
- ・オフィスでは、岐阜県総合教育センターにおける業務のほか、週に3日程度、岐阜・西濃地域の県立学校及び市町村立等学校に出向き、校務補助を実施する。

■障がい者就労オフィス 概要

- ・就労場所 岐阜県総合教育センター、
各県立学校、各市町村立等学校
- ・雇用者数 7名
- ・身 分 補助職員
- ・勤務時間 週5日 1日6時間(9:00~16:00)
- ・業 務 文書封入、執務室・教室・体育館等の清掃、
物品の移動・運搬、校舎周辺の草刈り 等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 (10/10)

(4) 類似事業の有無

- ・ 有 (人事課「障がい者雇用就労支援オフィス運営費」)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	17,225	報酬、共済費 (補助職員7人分)
旅費	609	費用弁償 (通勤手当相当)
消耗品費	240	活動用消耗品費
役務費	170	電話代、郵便代
使用料	50	使用料
合計	18,294	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 障害者の雇用の促進等に関する法律 第37条

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県総合教育センター内に「障がい者就労オフィス」を設置し、障がい者者雇用の拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①障がい者雇用者数	1人 (H30)	7人	7人	7人	7人	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 新型コロナウイルス感染状況に注意しながら、各学校から依頼を受けて、清掃や草むしり等の業務に従事した。 業務を請け負うことにより、教職員の業務負担の軽減に繋がった。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>障害者雇用率水増し問題は、国の機関も含めた全国的な問題となっており、公的機関は率先垂範すべきである。一方で、障がい者の方に気持ち良く働いていただく環境整備が必要であり、本事業はその核となる事業である。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>予定していた雇用者数を達成しているとともに、各学校からの派遣要望も多くなってきている。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>令和2年度に公用車を導入したことで、学校への移動がスムーズになった。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ オフィスの安定的な運営 ・ 学校現場におけるニーズとのマッチング

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスの安定的な運営のために、業務依頼の洗い出し及び年間業務計画を策定し業務量の平準化を行う。 ・ 学校現場でどのようなニーズがあり、どこまで業務ができたかを検証し、スタッフが行う業務について職域の拡大を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	